

日本一の石段 3333段に登ってみた！

高津美佳

熊本県が全国に誇る、日本一の石段3333段、昭和55年着工、昭和63年完成

日本全国各地の名石ほか中国・韓国・インド・・・等世界各国の御影石を使用している。

毎年11月には、アタック・ザ・日本一が開催されている。

10月22日、午後10時に黒崎駅より、マイクロバスでランナー仲間と出発、

高速に乗って御船インターで降り、夜中の2時頃に、佐保の湯の駐車場に到着、バスの中で

仮眠、朝6時頃に起きて、軽く朝食を食べて、バスで石段の登り口まで移動。

入口には、お相撲の番付表のような形式の看板があって、登った回数と年齢が書いてある、

77歳・7800回・すばらしい記録！！

さー、スタートと思ったら、もう下ってくる、汗びっしょりのキン肉マンが、ダンベルを両

手に持って腰にもおもりを巻いている、聞くと、10キロづつのダンベルで、日曜日は3往

復するのが習慣と、マニアックな人だ。でも、気持ちはわかる、私もダンベル無しで3往

復はしてみたい。

釈迦院御坂遊歩道の石碑・そびえたつしっかりとした石段を見上げながら、スタート！

100段・200段は、意外とあっという間にいける、200段のところでは大きな建物とト

イレがある、400段辺りで、平坦な石畳・500段辺りから心臓の鼓動が止まらない・1

000段、あと三分の二、一段の高さは色々だが、大体15cmくらい、いろんな色の石があ

る。意外と家族連れや子供たちも登っている。近所の方にとっては3333段は、特別な事

ではなくて、日課かも。1600段、中間地点の目印はない、やっと心臓が落ち着いてきたと思ったら、足が上がってなくて、突っかかる、2000段・3000段・ふー あと333段、やっと頂上に到着。48分くらい。

【白龍が昇るが如し石段は3333で日本一】の石碑がある。

頂上には自販機はないので、水は500Lは必要かも。

そこから、さらに登ると、釈迦院に着く、標高860で、福智山と同じくらい。大きな門には、あ・うんの赤い銅像。その門をくぐると、鐘があって、この鐘をつくと願いが叶います、の張り紙。一回100円、いい音が森の中に響いた。

下りはヒザを痛めたらいけないということで、かなりの遠回りをして、林道をウォーキング・天気もよくて気持ちいい、この辺りはお茶畑がいっぱい、お土産に買って飲んだら高級な味で美味、突然、地元のかなり強烈な感じのおじさんが手招きをして、女性はトイレに困るだろうから、この学校のトイレを使いなさいと、案内してくれた。そして、昔は、この辺りで火打ち石をとっていたので、この川の名前は、「火川」（ひかわ）と教えてくれた、今は、「氷川」（ひかわ）と漢字が変わったそう。なるほど！

やっと元のスタート地点へ戻って、佐保の湯で汗を流して帰宅。

熊本県下益城郡美里町への、往復400キロ・7時間の大人の遠足でした。

2022.10.22～23日

